

2013
OWNER'S
MANUAL

BOWTECH

REFUSE TO FOLLOW

謝辞

ご購入おめでとうございます。私たちボウテック(BOWTECH)は数あるアーチェリーメーカーの中から、我々をシューティングのパートナーとして選んでくれたことを非常にうれしく思います。私たちの目標は、お客様に対して、業界内でも圧倒的に高品質な商品と、カスタマーサービス提供することです。お手数ですが、ボウテック(BOWTECH)のオンラインページにいき、あなたの新しいボウテック(BOWTECH)の弓を登録してください。あなたのフィードバックは私たちにとっても重要です。

また、このマニュアルをよく読むことは、あなたの弓を故障が起こらず保つことができるようにするために重要です。弓の購入、サービスやアクセサリなどをおこなう前、まずは近くの取扱店に相談することをオススメします。FAQ や連絡先情報も同様にボウテック(BOWTECH)Archery.com で見つけられます。

新しいボウテック(BOWTECH)の弓を使う前に、このマニュアルに記載されている、以下のことをよく読み、理解してください。これらの注意や説明に従えない場合は、弓にダメージを与えたり、あなた自身や他の人に危険を及ぼす可能性があります。

賠償責任について

ボウテック(BOWTECH)の商品を購入することで、すべての購入者は当社商品を安全に使用することに同意し、その使用による人やものへの損害の一切の責任を購入者自身が負います。

品質

すべてのボウテック(BOWTECH)ボウは厳重な品質コントロール過程をクリアし、手に入れられる最高品質の素材を利用しています。弓はすべて個別にシューティングテストと計測をおこない、厳しいパフォーマンス基準を満たすことを前提としています。

生涯保証

すべてのボウテック(BOWTECH)ボウは委託不可の生涯保証が登録されたオーナーに付属します。この保証は素材の劣化や製造工程における問題などに対するものであり、弓の誤った使用や改造によるものを保証するものではありません。次は例外となっています。

例外：

- ・ ケーブルやストリング、ベアリング、ペイント、ハイドログラフィックフィルムフィニッシュ、付属のパーツ：サイト、アローレスト、ストリングサイレンサー、クイバー、その他アクセサリパッケージに含まれるもの。

- ・ 誤った使用、空射ち、オリジナルの改造など。他にスクリューの緩みや1ポンド当たり5グレイン以下の重さの矢の使用も含まれます。改造や破損した矢の使用、ストリング保湿剤によるダメージも例外とします。

保証を有効にするには、オリジナルの購入者がオンライン登録フォームを購入から30日以内に送信する必要があります。

*弊社 JP アーチェリーからの購入分に関しては、オンライン登録せずとも保証を受けることができます。ただし、他社から購入した場合や、直接メーカーに相談したい場合は、登録してください。

正規取扱店

ボウテック(BOWTECH)の保証は認可されたボウテック(BOWTECH)取扱店からの購入に限ります。

保証サービス

私たちの保証における目標は、オレゴン州ユージーンにある私たちの施設に取扱店から弓が届いてから 3 営業日以内に修理・返送をおこなうことです。みなさまは私たちの大切なお客様であり、私たちは常に最高品質の効率的なサービスを心がけています。

保証を必要とするすべての商品は、検査・診断のために正規取扱店に返品される必要があります。ボウテック(BOWTECH)取扱店が工場へと返送するか、取扱店で修理をおこなうことができるか判断します。工場返送が必要な場合、返品承認番号 (RA ナンバー) が取扱店によって取得されなければなりません。RA ナンバーのない商品は、工場では受け付けていません。ボウテック(BOWTECH)への返送料金は弓の所有者が負担します。COD 発送は受け付けていません。ボウテック(BOWTECH)は弓を受け取り次第、保証サービスを開始し、取扱店に返送します。

- ・発送方法は UPS か FED-EX のみ受け付けます。発送者はすべての SHIPPING を確認する必要があります。
- ・弓の修理がおこなえなかった場合、同等かそれ以上の弓を交換品として提供することを保証します。
- ・ボウテック(BOWTECH)はいかなる理由であれ、保証の範囲内で交換する必要があるパーツを交換する権利を有しています。

チューニングと正しいセッティング

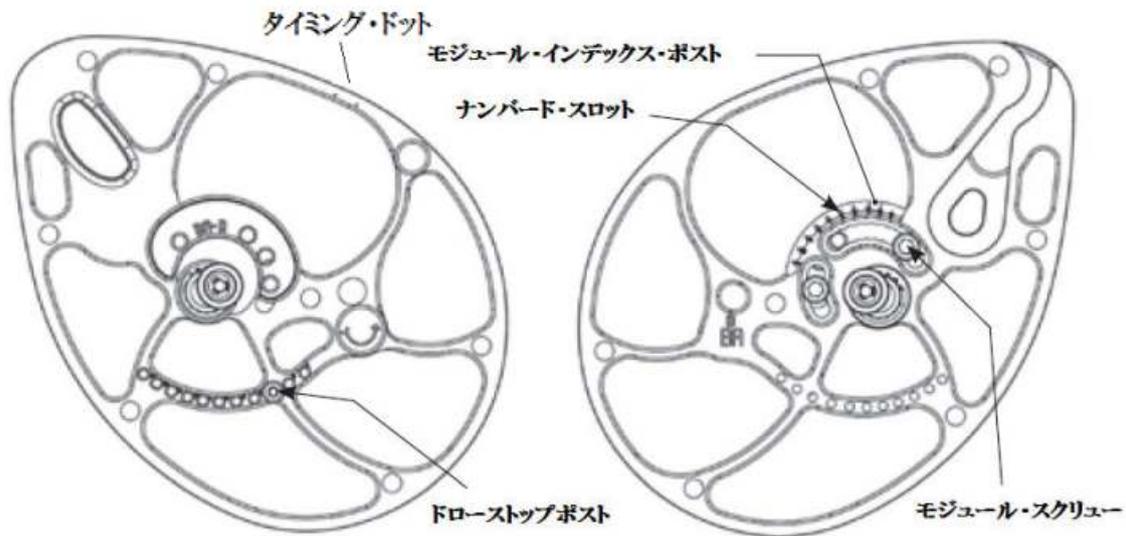


図1: オーバードライブ・バイナリ・ドロレングス調節

ドロレングスを調整する

ドロレングスをあなたに合うように調整することはとても重要です。適切なセッティングのやり方がわからない場合はボウテック(BOWTECH)認可代理店にお問い合わせください。

ボウテック(BOWTECH)の弓のドロレングスは、広い範囲で調節できますので、購入前にドロレングスを測定することは必要ありません。Rotating Mod System がそれを可能にしました。単純にモジュールを時計回り・反時計回りに回転させれば、ドロレングスを1/2インチ単位で調節できます。

オーバー・ドライブ・バイナリ・カムシステムモデル

(Experience, Insanity CPX, Insanity CPXL, Specialist)

1. オーバー・ドライブ・バイナリ・カムシステムの弓のドロレングスを調整するには、ボウプレスを使う必要があります。ボウテック(BOWTECH)では自宅ではなく、プロショップでドロレングスの調整をしてもらうことを推奨しています。
2. 弓がボウプレスにかけられ、弦とケーブルが緩められたら、9/64インチレンチを使ってモジュール・スクリューを取り外します。
3. モジュール・インデックス・ポストとナンバード・スロットカムを確認してください。すべての弓は工場出荷時にはドロレングスが29インチに設定されています。このとき指標

ポストはそれに対応するスロットの位置に合わせてあります。最も低い番号の位置で、ドローレングスは最も長くなります。

4.ドローレングスを長くするためには、モジュールを回転させて、モジュール・インデックス・ポストが番号の小さい方に行くようにします。たとえば、#5のスロットで29インチの設定になる Experience の場合、#1 スロットに合わせれば、ドローレングスは31インチになります。

5.ドローレングスを短くするためには、モジュールを回転させて、モジュール・インデックス・ポストが番号の大きい方に行くようにします。たとえば、#5のスロットで29インチの設定になる Experience の場合、#7 スロットに合わせれば、ドローレングスは28インチになります。

6.モジュール・スクリューを再び取り付け、カムに固定します。このとき、青のネジロック (ロックタイト 242)を使うことを推奨します。これを使うことにより、弓の使用中にねじが緩むことを防げます。

7.すべての弦とケーブルが溝にはまっている事を確認してから、弓をボウプレスから外してください。

8.モジュールを再設定した後は、ドローストップの位置を変える必要があります。5/64 インチレンチを使ってドローストップポストを移動させて下さい。

9.モジュール・インデックス・ポストに対応するようにドローストップポストの位置を変更してください。たとえば、モジュールが#7 ポストにある場合、ドローストップの位置も#7 に合わせる必要があります。

Chart 1: オーバー・ドライブ・バイナリ・モジュール&ポストセッティング

Module Position	Experience		Insanity CPX		Insanity CPXL		Specialist	
	Draw Length	Post Setting	Draw Length	Post Setting	Draw Length	Post Setting	Draw Length	Post Setting
1	31	1	30	1	32	1	30.5	1
2	30.5	2	29.5	2	31.5	2	30	2
3	30	3	29	3	31	3	29.5	3
4	29.5	4	28.5	4	30.5	4	29	4
5	29	5	28	5	30	5	28.5	5
6	28.5	6	27.5	6	29.5	6	28	6
7	28	7	27	7	29	7	27.5	7
8	27.5	8	26.5	8	28.5	8	27	8
9	27	9	26	9	28	9	26.5	9
10	26.5	10	25.5	10	27.5	10	26	10

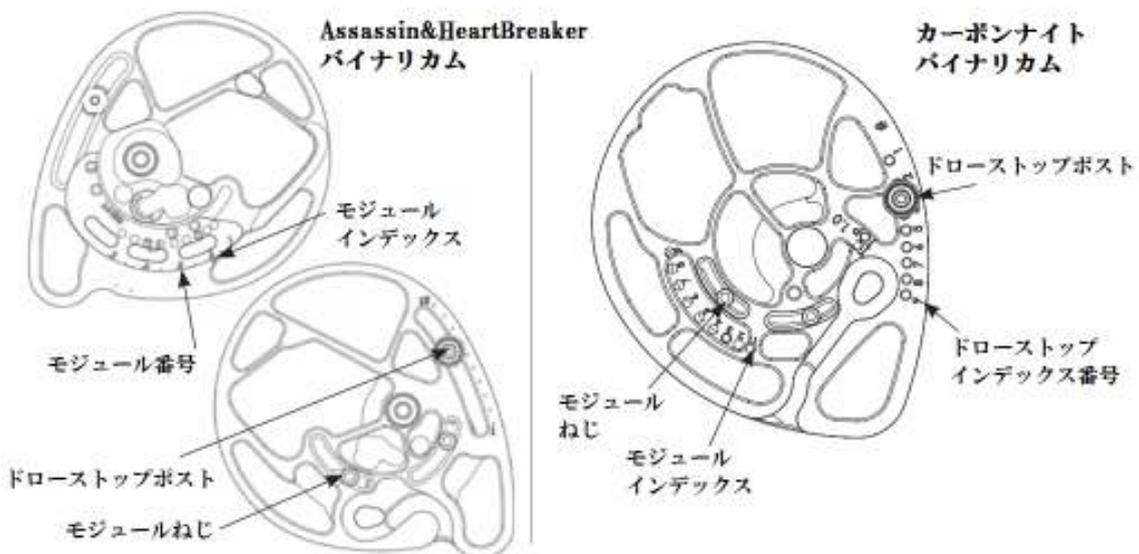


Figure 2: バイナリ・ドローレングス調整

スタンダード・バイナリ・カムシステムモデル(カーボンナイト, Assassin, HeartBreaker)
図2と表2を参照してください。

- 1.六角レンチを使用してモジュールをカムに固定しているモジュールネジを外します。
- 2.カムのモジュールインデックスとモジュール番号を確認します。異なる番号にモジュールとインデックスの番号を移行することでドローレングスを変えることができます。最も低

い番号に合わせることで最も長いドロールングスになります。

3.ドロールングスを長くするためにはモジュールインデックスの指す番号が小さくなるようモジュールを回転させます。例えば、Assassin が工場出荷時に#2 で 29 インチのドロールングスに設定されていた場合、#1 に合わせることでドロールングスが 30 インチになります。

4.ドロールングスを短くするためにはモジュールインデックスの指す番号が大きくなるようモジュールを回転させます。例えば、Assassin が工場出荷時に#2 で 29 インチのドロールングスに設定されていた場合、#3 に合わせることでドロールングスが 28 インチになります。

5.モジュール・スクリューを再び取り付け、カムに固定します。このとき、青のネジロック (ロックタイト 242)を使うことを推奨します。これを使うことにより、弓の使用中にねじが緩むことを防げます。

6.モジュールを再設定した後は、ドローストップの位置を変える必要があります。まずはドローストップポストスクリューを緩め、表 2 の適切なポジションへとスライドさせ、再度スクリューを締めます。Assassin と HeartBreaker ではポストの微調整をおこなうことでドロールングスとレットオフのファインチューニングができます。ポストのセッティングでは個々に必要なドロールングスへの調整ができますが、ドロールングスを調整することで同時にレットオフとバレーにも影響があります。特定のドロールングスで正確なレットオフを得るためには試行錯誤とポンドスケールに利用を繰り返す必要があるかもしれません。補助が必要であれば認可されたボウテック(BOWTECH)取扱店にお問い合わせを。

Chart 2: バイナリモジュール&ポストセッティング

Module Position	Carbon Knight		Assassin		HeartBreaker	
	Draw Length	Post Setting	Draw Length	Post Setting	Draw Length	Post Setting
1	30.5	1	30	8.5	27	9.6
1.5	30	2	29.5	7.6	NA	NA
2	29.5	3	29	6.8	26.5	8.3
2.5	29	4	28.5	5.9	NA	NA
3	28.5	5	28	5	26	7.2
3.5	28	6	27.5	4.3	NA	NA
4	27.5	7	27	3.7	25.5	6.3
4.5	27	8	26.5	3.1	NA	NA
5	26.5	9	26	2.6	25	5.5
5.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA
6	NA	NA	NA	NA	24.5	4.7
6.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA
7	NA	NA	NA	NA	24	4.0
7.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA
8	NA	NA	NA	NA	23.5	3.3
8.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA
9	NA	NA	NA	NA	23	2.6
9.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA
10	NA	NA	NA	NA	22.5	1.9

カムのタイミングを合わせる

カムのモジュール側の外周には「タイミング・ドット」という小さなへこみがついています。モジュール側から直接弓を見てみると、ケーブルは、図3のように、これらのドットのちょうど真ん中を通るようにしなければなりません。タイミングを合わせる場合は、自宅ではなくプロショップでボウプレスにかけてもらってから調節してもらいましょう。

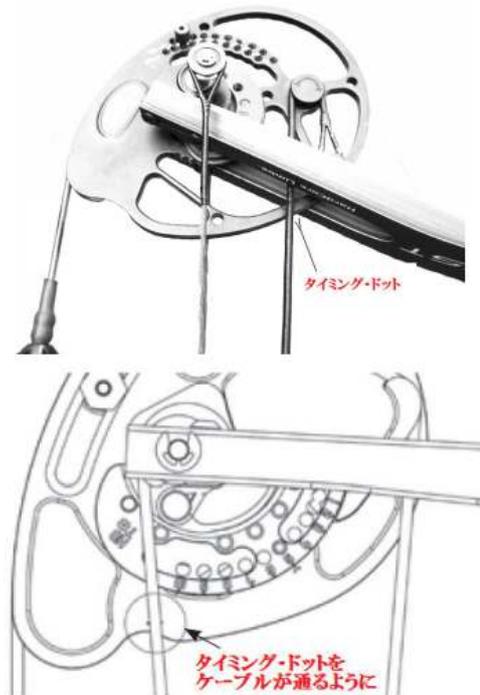


図3:カムタイミング

ドロウウェイトを設定する

ドロウウェイトは、モデルにもよりますが、およそ 10 ポンドまで下げることができます。詳細はボウテック(BOWTECH)の販売代理店に、あなたの弓がどの程度までポンドを落とせるのかお問い合わせ下さい。ただし、すべての弓は最も高いピークウェイトで、その真価を発揮します。

ドロウウェイトは六角レンチを使って、リムボルトを締めたり緩めたりすることで調節できます。モデルによって調節方法が異なるので、以下の説明を参照してください。

注意:リムボルトは、推奨値以上は回さないでください。リムボルトからリムが外れたり、壊れたりすると、けがをする可能性があります。

スペシャリスト(Specialist)

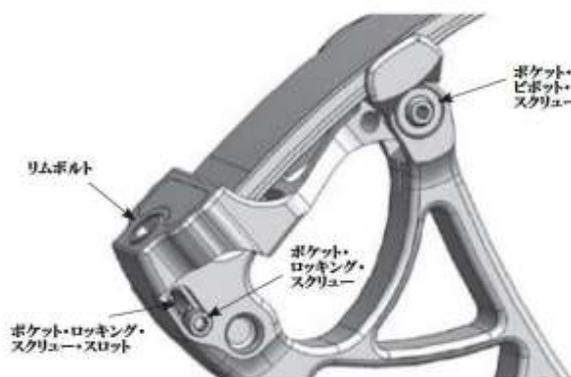


図:ドロウウェイト調整 (スペシャリスト)

これらのモデルのドロウウェイトは、弓のピークウェイトから 10 ポンドまで下げることができます。たとえば、弓が 60 ポンドモデルとして出荷された場合、ドロウウェイトは 50 ポンドまで下げることが可能です。方法は以下の通りになります:

1.5/32 インチレンチを使い、4つのポケット・ロック・スクリューを緩めます。ス

クリューは外さず、緩めるだけで大丈夫です。

2.1/4 インチレンチを使い、ドロウウェイトを回転させます。1回転締めることで、およそ2ポンドの変化になります。リムボルトは6回転以上緩めないでください。6回転緩めてしまうと、リムボルトは外れる可能性があります。上リムと下リムのリムボルトは同じように調節する必要があります。

3.ポンドが目標の値になり、リムボルトの位置が同じになったらポケット・ロック・スクリューを締めます。

4. リムボルトを調節することによって、ポケット・ピボット・スクリューが緩む可能性があります。そのため、5/32 インチレンチを使ってポケット・ピボット・スクリューが締まっているか確認し、締め直してください。

カーボンナイト、InsanityCPX、InsanityCPXL、Assassin、Heartbreaker

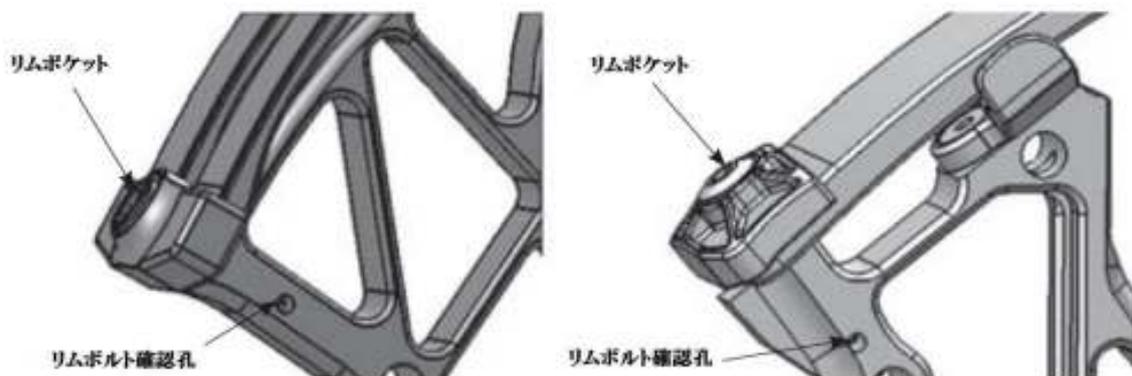


図:ドロウウェイト調節

(Experience / InsanityCPX / InsanityCPXL / Assassin / Heartbreaker)

これらのモデルのドロウウェイトは、弓のピークウェイトから10ポンドまで下げることができます。たとえば、弓が60ポンドモデルとして出荷された場合、ドロウウェイトは50ポンドまで下げることが可能です。方法は以下の通りになります:

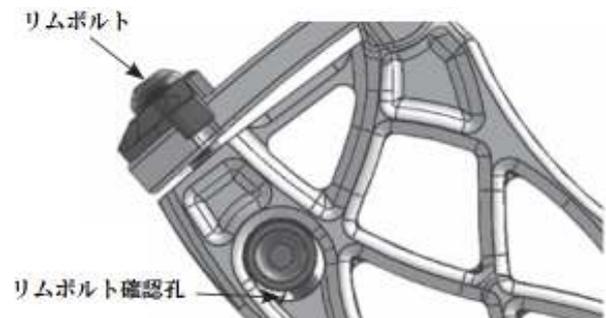


図:ドロウウェイト調整
(カーボンナイト)

六角レンチを使ってリムボルトを回転させて下

さい。Experience、InsanityCPX、InsanityCPXLの場合、1回転すると、およそ1ポンドの変化になります。カーボンナイトとAssassinは1回転でおよそ3ポンド、Heartbreakerは2.5ポンドほどになります。このとき、**リムボルト確認孔からリムボルトが見えなくなるま**



REFUSE TO FOLLOW

で、リムボルトを緩めないでください。図のようにリムボルトは、穴から覗ける状態にしておかなければいけません。上リムと下リムは同じように調節する必要があります。

センターショット

センターショットは、ハンドルのウィンドウの後ろ部分から矢までの距離と、ハンドルのウィンドウの前の部分から矢までの距離を測る必要があります。この二つが同じであれば、正しいセンターショットになっています。

。

これはボウテック(BOWTECH)の弓をチューニングするときの最初のステップになります。二つの距離が同じになるように、アローレストを調節してください。

***弓の種類、用途、アロースハインや弓のポンド数、手の位置などによっては確なセンターショットが必要になるとは限りません。**

弓のメンテナンス

ボウテック(BOWTECH)の弓は正しいメンテナンスをおこなえば生涯使い続けられるように、最高品質の素材を使っています。絶対に、矢をつがえていない状態で弓をうたないでください。これはあなたに怪我を負わせるだけでなく、弓にダメージを与えてしまいます。もし弓が空うちしてしまった場合は、近くの取扱店に持って行って検査してもらってください。

ボウテック(BOWTECH)の弓を高温の場所に置いておかないでください。弦やケーブルが伸びてしまい、・イミングに影響してしまいます。

弓をうつ前に、必ず弦やケーブル、リムに傷みがないか確認してください。ダメージがあった場合は、弓を近所のプロショップか、ボウテック(BOWTECH)代理店に持って行って、検査・修理してもらってください。

ボウテック(BOWTECH)の弓のカムは、両方ともシールドヘアリングが装備されています。カムにオイルは必要ありません。

ストリングとケーブル

ボウテック(BOWTECH)のカスタムボウストリングは長寿命と一定性を提供するために製造されています。その結果、高い精度を誇り、道具の再チューニングの手間を簡略化するこ

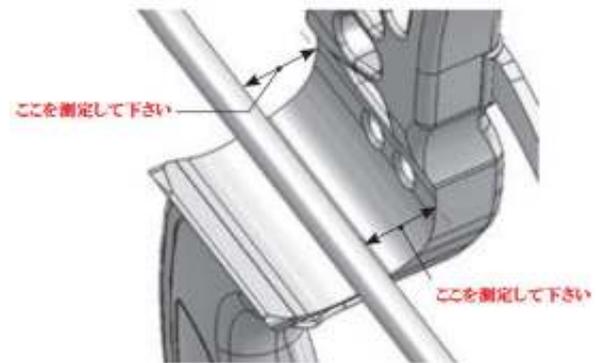


図:センターショットの調節



REFUSE TO FOLLOW

とに成功しました。

梱包と運送の最中に変化が起きている可能性があるため、ストリングを慣らすために 10-20 回試射をおこなうといいでしょう。

ストリングのワックスは定期的におこなってください。BCYML6 合成ストリングワックスかそれに準ずるものを利用することをお勧めします。ストリングにワックスがけをおこなう場合、ストリング全体に満遍なく塗布します。ストリングに馴染むまで指で簡単に伸ばしていきます。余分な分は布で拭き取りましょう。ケーブルとストリングの寿命を伸ばすためにも、毎回のシューティングセッション後にワックスがけをすることをお勧めします。

一般的な情報

あなたの新しいボウテック(BOWTECH)ボウはすでにチューニングされた精確なシューティングマシンです。その高いパフォーマンスを維持するためには扱い方に注意しなければなりません。高い負荷の中にあるストリング、ケーブルやリムは高いエネルギーを内包しています。この力には敬意をはらい、正しく使用することを覚えておいてください。

ボウテック(BOWTECH)ボウはほぼすべてのメーカーの生産するアクセサリを取り付けられるように設計され、リリーサーを使用することで最も高いシューティング性能を発揮します。

18 歳以下の子供がボウテック(BOWTECH)ボウを使用する場合は大人の監督が必要です。ボウテック(BOWTECH)の商品は安全に楽しくシューティングをおこなうためにデザインされています。しかし、他のシューティング商品と同じように、安全上のルールは常に意識しておかなければなりません。どんな弓を使用する時でも、これらのルールを読んでおくことは高く推奨されます。

弓矢はおもちゃではありません。高い安全性と楽しみを両立させるためには常に注意をはらい、常識の範囲内で弓を使用しましょう。

注意

空射ちは絶対にしない。

矢がノッキングされていない状態で弓を放つことは絶対にしないでください。人体のみな

らず、弓にもダメージを与え兼ねません。検査やデモンストレーションで弓を引いた時は、弓を引き戻す際に絶対にリリースしないでください。ストリングをしっかりとつかみ、手から滑らないように注意していきましょう。エネルギーを吸収するための正しい重さの矢がつかえられていないと、弓や自分にダメージを与えたり、他人に怪我をさせてしまうこともあります。

弓の作業をおこなっているときは常に安全ゴーグルをかけるようにしてください。

安全性を高めるために、常に適切なバックストップを使用してください。適切なバックストップは耐久性のある素材で作られ、ターゲットの延長上にある必要があります。推奨されるバックストップはアーチャーの技量と精度によります。シューターの技量によっては、バックストップの大きさや場所も見直す必要があります。

人のいる方向に弓を引いたり、エイミングしたりしないでください。適切なターゲットの方向のみを向いてドロウイング、エイミングをおこなってください。またシューティング中は常にターゲット後方への注意を切らさないでください。

ノックやインサート、チップなどすべてのコンポーネントをシューティング前に確認するようにしてください。緩んだコンポーネントがあるとバランスの悪い矢飛びになったり、最悪空射ちになってしまいます。もし矢が破損していると分かったら、絶対に射たないでください。リリースの瞬間に壊れ、鋭い矢の破片があなたや周囲の人たちに怪我を負わせてしまうかもしれません。

すべての矢が放たれるまで矢を回収したり、他人に回収させたりしないでください。

リムボルトが正しく調整されていない弓は絶対に引かないでください（「ドロウウェイトを設定する」参照）。ストリング、ケーブルが正しいポストにかけられ、正しいトラックにはまっているかをしっかり確認するようにしましょう。

ストリング素材を摩耗・損傷させるようなものをストリングやケーブルに取り付けしないでください。これによって保証は無効となります。

工場でセットされた状態以外にケーブルをクロスさせないでください。これによってパフォーマンスに影響があり、弓のシューティング性能に影響を及ぼします。これによってストリングやケーブル、ケーブルスライダーとローラーガードに摩耗を及ぼす可能性が高まります。



REFUSE TO FOLLOW

工場の指定した方法やここに示された調整方法以外で弓をチューニングすることは保証を無効化します。すべてのメンテナンスは認可されたボウテック(BOWTECH)取扱店によっておこなわれる必要があります。

弓の購入、サービスやアクセサリなどをおこなう前、まずは近くの取扱店に相談することをオススメします。



BOWTECH

REFUSE TO FOLLOW

90554 Hwy 99 North • Eugene, Oregon 97402
BowTechArchery.com